

- 温泉施設や屋内運動場を活用した住民密着型の取組により、住民の憩いの場、交流の場として機能。
- 温泉施設利用者への無料送迎サービス、屋内運動場でのスポーツフェスティバルの開催等、**地域住民の健康増進に資する様々な取組**を実施。
- 「道の駅」が地区の**まちづくり協議会へ積極的に参画・連携**し、住民ニーズを踏まえた取組を展開することで、**地域住民の交流の場を形成**。



道の駅「桜の郷荘川」
岐阜県高山市
人口 約92.7千人
面積 約2,177.7km²



健康増進に資する取組の実施

◇地元高齢者など荘川地区の住民に対し、温泉施設へ無料送迎を実施。
(平均 約67人/月 利用)



無料送迎サービス

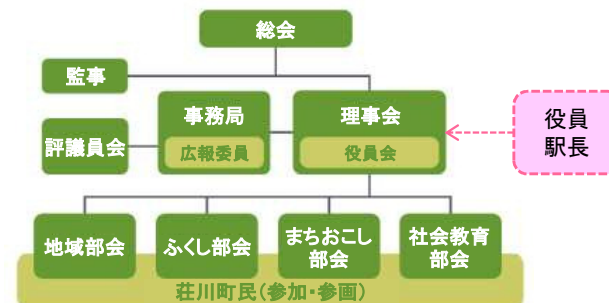
◇屋内運動場を活用した、地域住民の健康増進の取組を開催。
(平均 約8回/月 約170人/月 利用)



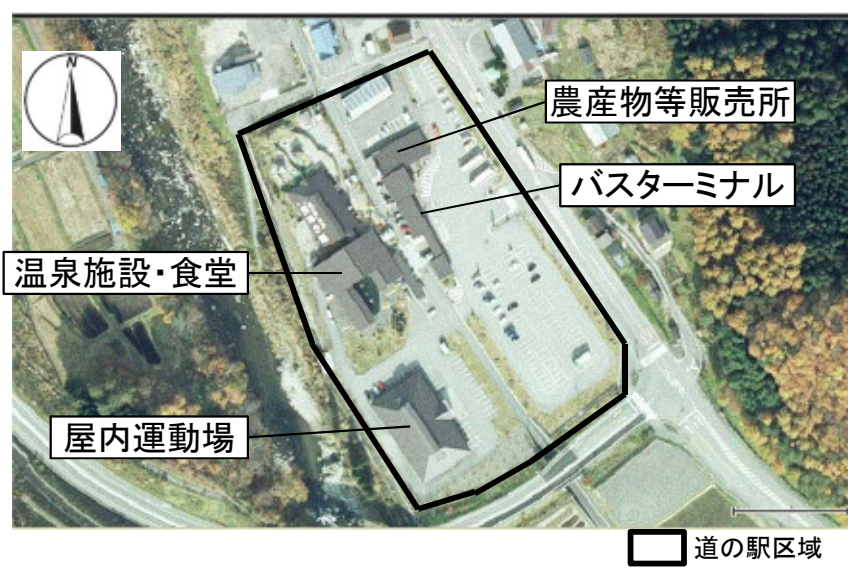
荘川町シルバースポーツフェスティバル

地区のまちづくり協議会との連携

◇駅長が荘川地区まちづくり協議会に積極的に参画し、道の駅との連携を深め、取組全般に渡りマネージメント



荘川地区まちづくり協議会



チャリティイベントを道の駅食堂で開催